

2・19働く者のセミナー@松戸

『働き方』について考えてみよう

『働き方改革』は誰のためか？

求人倍率や失業率から、まるで働く者にとって有利な経済状況だと言うような情報がまことしやかにほびこっていますが、働く者の現実感覚では、「ごまかされているのではないか？」というのが正直なところではないでしょうか。

現実の厳しさは、たとえば電通の過労自殺事件が労災として認定されたように、また、関電高浜原発の課長も過労で自殺という報道など、長時間労働の現実には事件にならなければ、当たり前前の日常だったのではないのでしょうか。長時間労働や差別労働がまかり通っていて、どこに働く者の豊かさがあるのでしょうか。

政府は「一億総活躍社会」の目玉として「働き方改革」を打ち出し、様々な施策を次々に打ち出していますが、同一労働同一賃金の実現や長時間労働の是正、定年延長等高齢者の就労促進など、「大ボラのかげごえばかり」という働く者の実感にこそ真実があると思います。「働き方改革」は誰のためになっているのか？

たとえば、同一労働同一賃金について、推進法が可決・公布されましたが、「業務の内容、責任の程度、その他の事情に応じた均等待遇」などと「責任の程度やその他の事情」なども含めることによって、既に骨抜きの大穴を設け、かえって職場に差別と分断を拡大させる内容です。長時間労働の是正についても、無際限の残業を可能とする、いわゆる「残業代ゼロ法案」(労基法改悪案)を閣議決定し、労働条件悪化の法案を成立させようとしているのが現実です。

アメリカでは次期大統領にトランプが選出されましたが、「雇用不安は移民のせいだ」と言うようなデマゴギーで(移民労働者を低賃金で働かせてきた企業にこそ責任があるにもかかわらず)、働く者の中に対立や差別をほびこらせながら、点数稼ぎをしています。

ひるがえって日本を見れば、安倍首相は「働き方改革実現会議」で、経団連榊原会長らを前に、来年の春闘では、「期待物価上昇率も勘案して賃上げの議論をお願いしたい」などと屁理屈を並べ、労働者の歓心を得ようと企んでいます。

将来物価が上がるのが予想されるからといって、上がるかどうかもわからないのに、本気で労働者のために思って賃上げをする経営者などどこにもいないでしょう。利潤の圧迫はグローバルな競争で、資本として敗北し没落するだけだからです。

賃上げで景気が良くなるという屁理屈も問題です。景気は社会的な経済状態であり、景気と賃金は別問題です。社会的な需要として、労働者の支出も資本家や企業の支出も支出として同じであり、利潤を縮小させる賃上げは資本にとってマイナスとなり、一方の支出が増えても一方の支出が減るので総支出は変わりません。また、資本の生産的な支出が減少すれば、資本主義的な繁栄の抑制的要因になるでしょう。屁理屈で経済について無理解なのをごまかしています。

賃金は労働者の生活を維持して再生産するものです。賃上げなど労働者の切実な生活改善の階級的な要求を、資本のためにもなるという協調主義では、労働者の社会的な地位はみじめな状態のまま、否、一層悪化するだけでしょう。

労働組合の幹部は、首相の要請によって、「賃上げを要請し易い状況になった」と歓迎していますが、「おふざけ賃上げ論」と言わざるをえません。賃上げは「要請」するものではなく、要求として突きつけていかなければ勝ち取れるものではないことをすっかり忘れてしまったのでしょうか。労働運動の混迷する現状を打破してこそ展望が開けるのではないのでしょうか。

働く者にとって最も切実なこれらの問題を徹底的に議論し、働く者にとって「希望ある働き方」とは何か、差別労働や搾取労働からの解放の道を模索していきたいと思います。働く仲間の皆さん、是非セミナーに参加され、「働き方」について大いに議論し、共に新しい闘いを前進させて行きましょう。

働く者のセミナー@松戸実行委員会 090(4941)8795 裕(はざま)

2・19 働く者のセミナー@松戸

『働き方』について考えてみよう

資本主義の下、日本は残業列島、長時間列島、搾取列島そのものである。これは何か偶然の、部分的の、あるいは一時的の現象といったものではない。

非正規労働者の大群、差別労働の跳梁跋扈と共に、正規労働者の、否、労働者全体の上に重くのしかかる長時間労働は直ちに一掃されるべきである、さもなければ日本の労働者階級は減びるしかない。

私たちは「労働の解放」こそ労働者全体の緊急の課題であると主張し、搾取労働と差別労働の即時一掃を呼びかける。

そして長時間労働、搾取労働の一掃なくして差別労働の廃絶はなく、また差別労働の廃絶と結びつけられることなくして搾取労働の一掃もないと強調する。

働く者のセミナー@松戸実行委員会
連絡先:090(4941)8795 裕(はざま)

第2回 働く者のセミナー@松戸

日時:2月19日(日)午後5時から8時

会場:松戸市民会館(松戸駅東口徒歩7分)

1階101会議室

参加自由:会場費、資料費として200円

報告:「働き方改革」の欺瞞性と

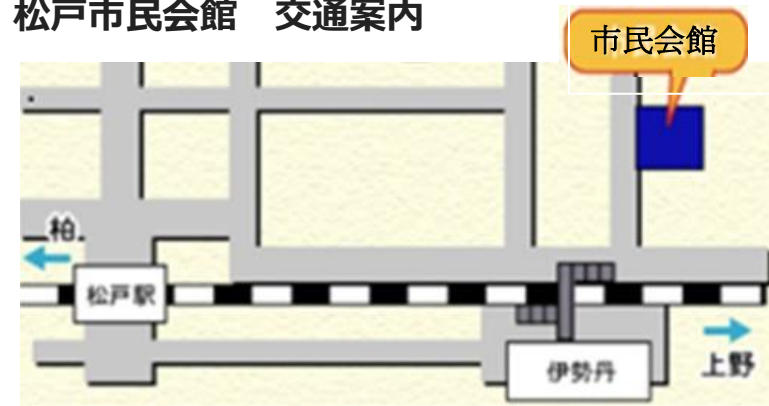
「搾取労働からの解放」について

報告の後、自己紹介(職場報告など)、質疑討論

主催:働く者のセミナー@松戸実行委員会

連絡先:090(4941)8795 裕(はざま)

松戸市民会館 交通案内



JR 常磐線または新京成電鉄の松戸駅下車
東口から徒歩約7分。

公共交通機関等をご利用ください。住所:松戸市松戸1389番地の1